

“困った患者さん”  
が来院したら？

院長・スタッフの  
ための必携書！

さあ、どうしよう？

# 対応に困る 患者さんたち

スタッフと共有する、振り回されないためのポイント

編著 岡田智雄

(日本歯科大学附属病院 心療歯科診療センター・教授)

著 石井隆資・大津光寛・小川智久  
小池未来・藤田(石川) 結子

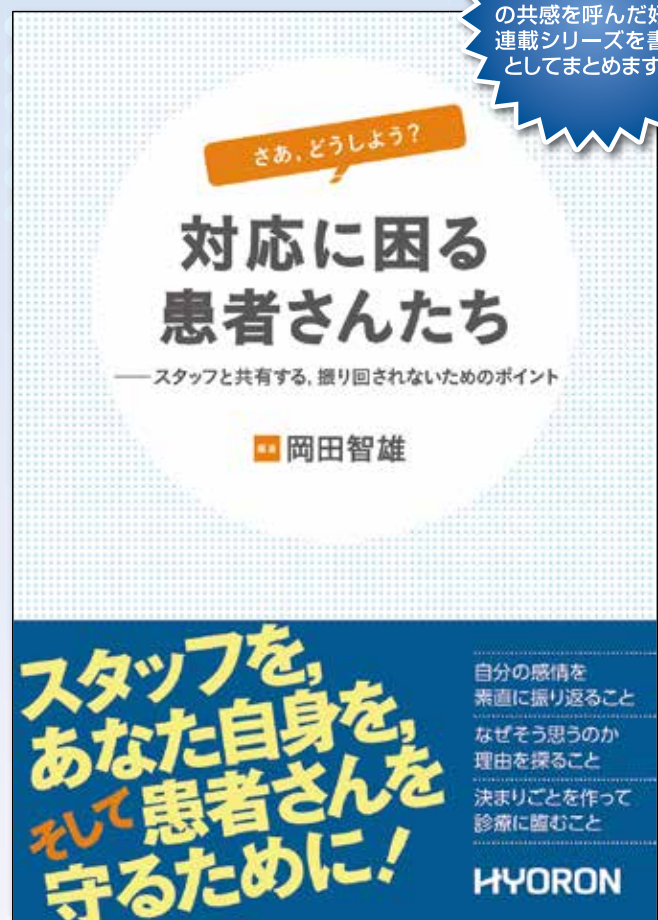
(日本歯科大学附属病院 心療歯科診療センター)

苅部洋行\*・加藤雄一

(日本歯科大学生命歯学部 小児歯科学講座 \*教授)

- ◆ アポイント表の名前を見ただけで何となく気分が重くなる患者、治療後になぜか著しい疲労感に襲われる患者……。歯科医院には、毎日さまざまな方が来院します。
- ◆ 医療者は患者に対してネガティブな感情を持たないように訓練されていますが、まずは自分の感情を振り返り、認めたくえで、行動を選択することが大切です。
- ◆ 本書では、日常臨床で遭遇しやすいケースをもとに「難しい患者」「困った患者」への対応ポイントを解説します。

月刊「日本歯科  
評論」で多くの読者  
の共感を呼んだ好評  
連載シリーズを書籍  
としてまとめます。



A5判・120頁・定価(本体2,800円+税)

さあ、どうしよう？

# 対応に困る 患者さんたち

スタッフと共有する、振り回されないためのポイント

## 内 容 紹 介

### I 難しい患者への対応の基本

1. 陰性感情が「難しい患者」を作り出す
2. あっちもこっちも変！ 早く治して！
3. 危険予知は可能か？
4. 患者さんの不安との付き合い方
5. 言って良いこと・悪いこと
6. 「この治療だけしてください！」という患者への対応

コラム

①「リミット・セッティング」／②解釈モデル／③自動思考／④救済者幻想(レスキューファンタジー)

### II 症例別の対応ポイント

7. 無臭になりたいの？
8. 怖い……治療したい……でも怖い！
9. 悩ましい舌の痛み①
10. 悩ましい舌の痛み②
11. かみ合わせ, 咬み合わせ, かみあわせ……
12. 歯肉から伸びるナイロン紐の正体

コラム

⑤認知行動療法／⑥痛み行動(pain behavior)／⑦解決志向アプローチ(Solution Focused Approach)／⑧体性感覚

### III 精神疾患, パーソナリティ障害患者の対応ポイント

13. 命の門番・ゲートキーパー
14. 妄想に振り回される人
15. Eating Disorder
16. なぜか疲れる患者への対応
17. “奇妙な訴え”をする患者との付き合い方
18. vs キレル患者, 怒鳴る患者
19. 訴える心, 応える顎
20. “落ち着けない自分”に困る子供たち

コラム

⑨ゲートキーパー／⑩薬剤性開咬／⑪摂食障害／⑫妄想／⑬境界性パーソナリティ障害／⑭感情を鎮めるための“3変”の原則／⑮心身症／⑯限局性学習症

### IV 歯科でできる治療・医科との連携のポイント

21. 悩ましい“痛み”への処方箋①
22. 悩ましい“痛み”への処方箋②
23. 患者を抱え込まないための医療連携
24. “難しい患者”を抱え込まないために